

令和5年度 高崎商科大学附属高等学校 学校評価一覧表(様式I)

羅 針 盤			方 策	担当部署
評価対象	評価項目	具体的数値項目		
I 学習環境を整備し、特色ある学校づくりに努めていますか。	1 生徒の能力や特性を育成する機会を与えていますか。	1 様々な学習やその他の活動の機会が提供されていると評価している生徒が70%以上である。	自主自立の学校教育目標達成のため、生徒の個性を生かし、希望進路に沿った教育内容を充実させる。また、課外活動にも積極的な参加を促し調和のとれた人格形成を目指す。昨年度から実施の土曜講座で多くの講座を用意して生徒が自ら選択し自主的な学習を推進していく。海外研修、ベトナムSSP、グローバルスタディーズなど国際に関する教育にも取り組んでいく。	・企画運営会議 (アンケートNo.1&14)
		2 生徒の能力や技術向上のための学習環境が整備されていると評価している生徒が70%以上である。	全教室Wi-fi環境が整備され、タブレット端末を積極的に授業で活用し、情報収集・分析・問題解決につなげることができるスキルを身に付けさせる。学習室を平日放課後8:00まで、休日は朝9時から夕方5時まで開館し、集中して学習できる場を提供する。	・教科部会 (アンケートNo.2&15)
		3 放課後、学習室を利用して、自主学習をする生徒が1日25人以上である。	1年生にはオリエンテーションの中で学習室についての説明を司書が行い利用の仕方を教えていく。また、放課後の学習指導員常駐により、学習室での自主学習を定着化させる。	・図書運営部会 ・科、コース部会
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	1 生徒による授業アンケートを年2回実施し、授業改善に活かしている。	授業アンケートを7月と12月に実施。その結果を元にして、教科部会会議を行い、学習進捗や内容について検討し授業改善と指導力向上を図る。	・教科部会
		2 生徒の実態をふまえたわかりやすく工夫された授業が行われていると評価している生徒が70%以上である。	各科・コースの生徒の学習能力や進路希望を把握し、基礎から発展まで、それぞれに合った教材選定と授業内容の検討を行う。また、ICT機器(ワイド・クロームブック)を有効活用し、わかりやすく積極的に参加しやすい授業実施に努める。	・教科部会 (アンケートNo.3&16)
		3 家庭学習のための教材や課題を提供していると評価している生徒が70%以上である。	授業の復習や予習に必要な学習の指示や補助教材を提供することで、授業の理解度を上げ、生徒の学習意欲向上につなげる。Classiやgoogle classroom によるドリルや課題の配信も合わせて行う。	・教科部会 (アンケートNo.5&18)
		4 学校図書館における1日平均貸し出し数が20冊以上である。	1年生にはオリエンテーションの中で図書室についての説明を司書が行い利用の仕方を教えていく。図書運営部会主導による企画展示や、総務班の生徒によるコーナー展示、図書委員会の生徒が役割を分担し運営することで、生徒にとって来室しやすい雰囲気作りをしていく。	・図書委員会
	3 生徒は確かな学力を身につけていますか。	1 7月と12月に学習状況と学力を測定するための評価テストや授業アンケート等を実施して、指導の指標とする。	模擬試験を実施して、全国での学力レベルを把握し、学習進捗や内容について検討して日々の指導に生かす。シラバスを作成し計画的に授業を進める。またSDGsを意識した授業を積極的に展開し、主体性・課題解決能力を育む。	・教科部会
		2 進路目標や学習到達度に応じて、適切なアドバイスや学習指導が行われていると評価している生徒が70%以上である。	教科・科目の特性を考慮し習熟度別授業や少人数授業、および各種検定対策を行う。また、放課後、図書室に担当職員を常駐させ、進路相談や教科指導を行ない、生徒それぞれに合った進路選択や進路実現に向けて支援する。	・教科部会 (アンケートNo.4&17)
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	1 組織的、継続的な指導をしていますか。	1 科・コース委員会、生徒指導委員会において、目標達成のための会議を週1回程度行っている。クラッシーで必要な情報を発信していく。	科・コースの運営状況や生徒に関する情報交換を行う。毎週1回の企画運営会議で、主任が報告し、「委員会だより」にまとめて、全職員に配布する。科・コース主任を中心にして生徒・保護者向けに必要な情報を発信していく。	・科・コース部会 ・生徒指導部会
		2 教員による週番業務、校内安全点検にて清掃状況、管理状況の点検、確認を行う。ヘルメットの着用を含め、交通安全指導を行う。	年度初めの交通安全指導、1年生は警察職員による交通安全講話を開催する。生徒指導重点目標を掲げ具体的な運動に取り組む。昼休み時間の校内巡視の実施。ロッカーの施錠の習慣化と貴重品の管理を徹底させ盗難・紛失を防ぐ。あわせて道徳教育により倫理意識を高める。	・生徒指導部会
	2 生徒がそれぞれの特性や興味を生かして活動できる場を提供していますか。	1 転退学者数、年間15人以下、出席率99%以上を目標とする。SNSへの理解を深めトラブルを防止する。	コース会議、生徒指導会議等により、問題を抱えている生徒の早期発見、早期対応に努め、転退学者、生徒の怠慢による遅刻の減少に努める。SNSへの理解を深めさせ、トラブルを防止する。	・生徒指導部会
		2 生徒の特性や関心を生かせる学習やクラブ活動の場を提供していると評価している生徒が80%以上である。	数多くの文化部・運動部を設け、多種多様な生徒の興味関心や能力を発揮し伸ばせる場を提供する。また、集団における規律や協力の大切さを学び、人間としての成長を促す。	・学年部会 (アンケートNo.6&19)
		3 生徒が心身ともに成長できる学級活動や学校行事が提供されていると評価している生徒が80%以上である。	ロングホームルーム・各種委員会活動・学校行事において、積極的に発言し行動できるよう、役割を与え成長を促す。集団の中で、仲間と相談し協力して物事に取り組むことで、リーダーシップや責任感を身に付けられるよう助言を与え成長を促す。	・科・コース部会 (アンケートNo.7&20)
		4 校内・校外で実施される活動について情報が提供されていると評価している生徒が80%以上である。	校内・校外で実施される各種コンテストやボランティア活動などの情報を提供し、積極的に参加を促し、それぞれの特技や能力を発揮し活躍できる場を与える。様々な人々との交流や体験を通して、視野を広げ社会とのかかわりについて理解を深める機会を提供する。	・科・コース部会 (アンケートNo.8&21)

令和5年度 高崎商科大学附属高等学校 学校評価一覧表(様式Ⅰ)

羅 針 盤			方 策	担当部署
評価対象	評価項目	具体的数値項目		
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	1 計画的な指導を行っていますか。	1 各学年で適切な進路指導関係の行事を計画し、適切な助言や情報が提供されていると評価している生徒が80%以上である。	1学年での進路講演会, 系列大学体験入学, 1, 2学年での科・コース毎に行う進学ガイダンス(卒業生との懇談), 3学年での校外進路相談会, 校内進路説明会, 総合学習での外部講師による授業を計画する。「進路資料」を6月上旬に発行し情報を提供する。	進路指導部会 (アンケートNo.11&24)
		2 生徒の将来の志望について理解し適切な助言や情報を提供していると評価している保護者が80%以上である。	保護者面談等により保護者の理解を図る。また, 必要に応じて担任と保護者が連絡を取り, 生徒理解を深める。学年学級懇談会等で保護者を対象とした進路説明会, 進路講演会を計画する。	進路指導部会 (アンケートNo.9&22)
	2 生徒が自らの進路について真剣に考え, その実現に向けて取り組んでいますか。	1 生徒の適性や能力を把握するための機会を提供していると評価している生徒が80%以上である。	「スタディーサポート」「適性検査」等を実施し, 進路意識を高め, 自己理解を深めさせる。生徒との個別面談を利用し, 進路実現のため目標を持って学習するよう指導する。	進路指導部会 (アンケートNo.10&23)
		2 進路実現に向け積極的に取り組む指導を重視する。共通テスト受験者100名以上, 国公立大学30名以上, 中堅以上私大合格者30名以上を目指す。	進路希望および学力レベルに適した授業や補習を展開し, 全体の学力向上を図る。定期的に委員会を開き, 学習到達度や模試結果を分析, 検討し, 大学入学共通テストや国公立大学個別学力試験に対応できる十分な学力を養えるよう適切な教材や資料を提供する。また, 成績不振生徒を対象とした補習も実施し進路達成に必要な基礎学力の定着を図る。	進路指導委員会
Ⅴ いじめのない学校作りにも努めていますか。	1 いじめ防止や発見のための具体的対策を行っていますか。	1 面談やアンケートを通じて, 学校が生徒理解に努めていると評価している生徒が70%以上である。	学期に一度「学校生活アンケート」を実施し, 生徒の人間関係やいじめの有無を把握し, 早期発見・早期解決につなげる。また, 授業や清掃など日常観察や面談を通じて, 生徒理解に努め, 生徒との信頼関係を築いておく。生徒指導委員会による情報の共有と, 共通理解のもと生徒指導の徹底を図る。	生徒指導部会 (アンケートNo.12 &25)
		2 生徒の人的成長を助ける機会を提供していますか。	第2学年生徒を対象に, 「生・生きる」を主題に講演を開催し, 自分や自分以外の人の命の重さや生きることについて「考え, 話し合い, 発表する」アクティブラーニング形式の授業を実施する。部活動や学校行事等の学校生活全般を通じて, 公正で協力的な態度を養えるよう指導する。SNSに関係した倫理意識の高揚と, トラブルの防止への指導。ハイパーQU・NASI-Rのクラス運営への活用。	生徒指導部会 (アンケートNo.13 &26)
Ⅵ 開かれた学校づくりに努めていますか。	1 家庭・中学校等に積極的に情報発信をしていますか。	1 商大附高だより(年2回), 同窓会報(年1回)を発行し, 学校生活の様子や学校行事について情報発信する。	商大附高だよりを年2回, 同窓会報を年1回発行できるように, 父母の会の役員, 卒業生とともに編集を行い, 学校生活や学校行事の様子を記録したり卒業生の活躍を取材する。また, 父母の会の役員や卒業生に執筆を依頼し, 情報発信する内容の質を高めるよう努める。	・教務
		2 学校の教育活動を広く理解してもらうため, ホームページの更新を週2回程度のペースで実施する。また, オープンスクール・入試説明会・個別相談会を実施して中学校に本校を理解してもらえるよう内容を工夫していく。また, 中学校主催の学校説明会では本校を印象付け, オープンスクール参加を促していく。	ホームページは本校の特色や教育活動を簡潔明瞭に伝える内容にし, 家庭や中学校の先生・中学生・保護者を対象とした広報活動に活用できるものにする。特に, スマートフォンからの閲覧が増加しており, スマートフォンでの閲覧を考慮したデザインとしていく。オープンスクールでは, 学校案内や体験授業を実施し, また, 部活動の自由見学を実施して, 本校をより理解してもらえる内容とする。中学校主催の説明会では, 専属の担当者を割り当て, プレゼンテーション内容や説明方法の検討を行い, 中学生にとって魅力的なものとする。	・教務開発部会 ・教務
		3 受験生や中学校の先生方に本校の特色や教育活動について理解してもらうため, 中学校訪問, オープンスクール等を実施し, 3,000人以上の中学生・保護者の参加, 総受験者数2,500人, 入学者500人(定員)確保に努める。	中学校別に担当教員を割り当て年2回は中学校を訪問し, 学校の様子や卒業生の情報を提供し, 中学校との良好な関係を築く。パンフレットやチラシを届け, オープンスクールや入試説明会の宣伝を行い, 数多くの中学生に見学体験してもらう機会を設ける。昨年度からの入試制度やコース編成の変更について周知する。中学校教員対象の入試説明会では, 特に丁寧にわかりやすく説明する工夫を要する。また, 新聞や広告メディアを活用して, 広く本校の教育活動及び実績を周知する。	・教務開発部会 ・教務
Ⅶ 施設設備の安全・維持管理のための点検を行っていますか。	1 校地・校舎の整備状況を確認し定期点検を励行していますか。	1 点検チェックリストに基づいた校内の工作物及び機器等の安全点検を月次で実施する。	チェックリストの共通理解のもと, 安全環境部会と協力し年3回, 事務室で年9回, 校内における工作物及び機器等の安全点検を目視等により実施する。安全の確保に支障がある場合は, 危険物の撤去, 修繕等の適切な措置を講ずる。また, 業者に委託して実施する電気・ガス・水道・防災設備・冷暖房機器等の定期的な点検を確実に実施する。	・事務
		2 学園の長期建物保全計画を基にして, 施設維持のための計画的な修繕工事を実施する。	建物劣化状況診断調査報告書(令和3年度)を基にした建物保全計画を更新し, 早期対応を要するものを予算化する。その他建物老朽化の対策は, 学校評価アンケート等で生徒や保護者から提供される情報を参考にし, 計画的な施設修繕工事を実施する。	・事務